

充電電流チェッカー

CC-50MN

取扱説明書

—SOUKOU—

本社、工場 〒529-1206 滋賀県愛知郡秦荘町蚊野 215

TEL 0749 - 37 - 3664 FAX 0749 - 37 - 3515

東京営業所 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町三友ビル3F

TEL 03 - 3258 - 3731 FAX 03 - 3258 - 3974

九州連絡所 〒812-0043 福岡県福岡市博多区堅粕 4-24-14 トライビル5F

TEL 092 - 413 - 7848 FAX 092 - 413 - 7939

営業的なお問い合わせ：sell-info@soukou.co.jp

技術的なお問い合わせ：tec-info@soukou.co.jp

URL：<http://www.soukou.co.jp>

(第1版)

目次

安全にご使用いただくために	2
1. 仕様	3
2. 各部名称	5
3. 測定について	
3-1：耐圧電流測定	7
3-2：コンデンサ容量測定	10
4. 電池の交換	12
5. 資料	13
6. 外形図	23

安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくため、試験装置をご使用になる前に、次の事項を必ずお読み下さい。また、仕様に記されている以外で使用しないで下さい。

試験装置のサービスは、当社専門のサービス員のみが行えます。

詳しくは、(株)双興電機製作所にお問い合わせ下さい。

人体保護における注意事項

電氣的な過負荷 感電または、発火の恐れがありますので、測定入力には指定された範囲外の電圧、電流を加えないで下さい。

パネルの取り外し 試験装置内部には電圧を印加、発生する箇所がありますので、パネルを取り外さないで下さい。

機器が濡れた状態での使用 感電の恐れがありますので、機器が濡れた状態では使用しないで下さい。

ガス中での使用 発火の恐れがありますので、爆発性のガスがある場所では使用しないで下さい。

機器保護における注意事項

測定入力 指定された範囲外の電圧を印加しないで下さい。

電池の液もれ 長期間使用しない時は、電池ボックスから電池を取り出して下さい。液もれによる腐食の原因となります。

故障と思われる場合 故障と思われる場合は、必ず(株)双興電機製作所または、販売店までご連絡下さい。

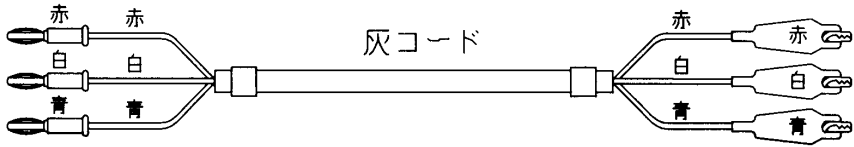
1. 仕様

- (1) 内蔵電池 : 単三アルカリ乾電池 4本
- (2) 測定要素
 - 耐圧電流測定 : 耐圧試験時における静電容量、充電電流を測定します。
 - インダクタ容量測定 : 進相インダクタの各線間の静電容量を測定します。
- (3) 測定回数
 - 耐圧電流測定 : 5回測定して平均値を表示
 - インダクタ容量測定 : 1回測定
- (4) 測定レンジ
 - 0.5 μF : 0.001 μF ~0.500 μF $\pm 5\% \text{rdg} \pm 10 \text{dgt}$
 - 5 μF : 0.01 μF ~ 5.00 μF $\pm 5\% \text{rdg} \pm 10 \text{dgt}$
 - 50 μF : 0.1 μF ~ 50.0 μF $\pm 5\% \text{rdg} \pm 10 \text{dgt}$
- (5) 測定電圧 : DC 15V
- (6) オートパワーオフ : 電源投入状態のまま、5分間測定を行わなかった場合は、自動的に電源がOFF状態になります。
- (7) 表示ディスプレイ
 - 構造 : ドットマトリクス液晶表示 (キャラクタタイプ)
 - ドット数 : 16桁2行
 - 画面サイズ : 62×16mm
- (8) 外形寸法 : 105(D)×153(W)×70(H) (突起物を除く)
- (9) 重量 : 約650g (電池含む)
- (10) 使用環境
 - 使用温度範囲 : 0~40℃
 - 使用湿度範囲 : 10~85%

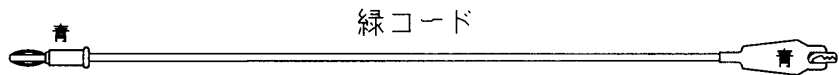
(11) 付属品

試験用リード線

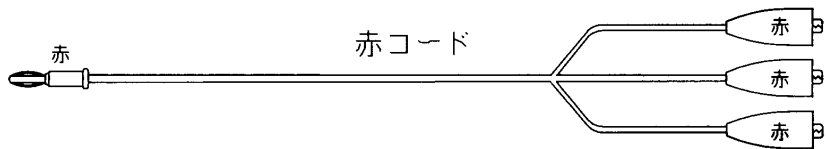
- ・ 耐圧電流測定用コード① (1.25sq×1芯 3m) …………… 1本



- ・ 耐圧電流測定用コード② (1.25sq×1芯 3m) …………… 1本

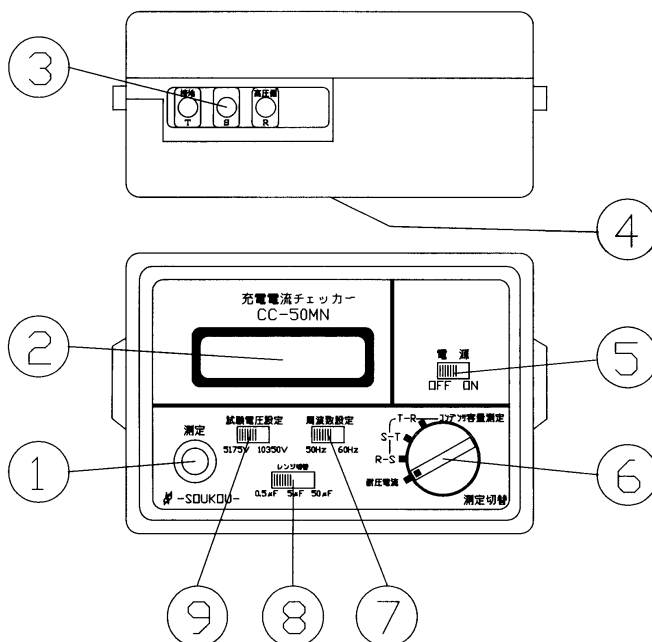


- ・ コルダ容量測定用コード (0.75sq×3芯 3m) …………… 1本



- 試験用リード線収納袋…………… 1枚
- 取扱説明書 (本書)…………… 1部

2. 各部名称



1. 測定スイッチ
測定の開始スイッチです。再度押すと測定を中止します。
2. 表示ディスプレイ
測定値を表示します。
3. 測定端子
測定入力部です。付属の測定コードを接続します。
コデ ヲ容量測定ではR, S, T 端子を使用し、耐圧電流測定では高圧側、接地端子を使用します。
4. 電池BOX
電池の収納部です。単三アルカリ乾電池4本を使用します。
5. 電源スイッチ
本装置のメインスイッチです。
6. 測定切替スイッチ
測定モードの切替えを行います。
7. 周波数切替スイッチ
耐圧電流測定時に周波数の設定を行います。
*コデ ヲ容量測定では使用しません。

8. レンジ切替スイッチ

測定レンジの切替えを行います。

9. 試験電圧切替スイッチ

耐圧電流測定時に試験電圧の設定を行います。

*コイル容量測定では使用しません。

3. 測定方法

3-1：耐圧電流測定

1. 本体の測定端子から、付属の測定コードを被測定物に接続します。

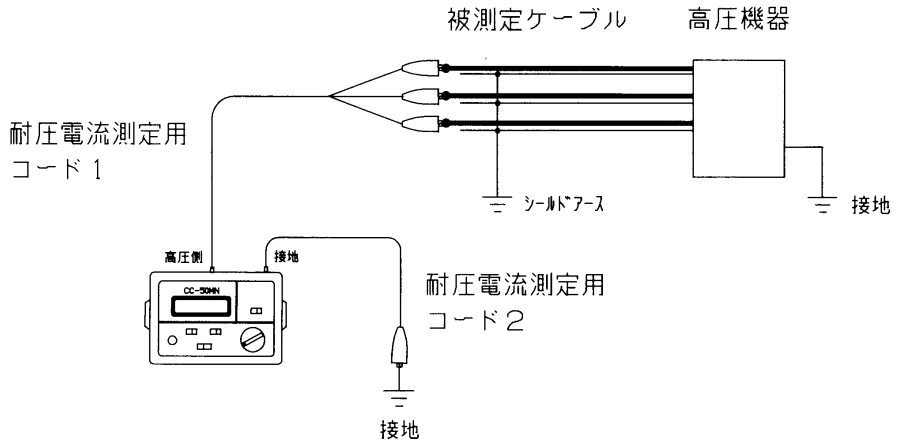


図3：接続方法

****危険****

被測定物への接続は必ず無電圧状態を確認してから行って下さい。
停電後、放電抵抗棒などで被測定物の電荷を放電してから接続するようにして下さい。

2. 測定切替えスイッチを“耐圧電流”に切替えて下さい。
3. 電源スイッチを“ON”にして下さい。

【表示例】

ジューデン・デンリュウケイ
SOUKOU

4. 試験電圧切替スイッチを“0.5 μ F”のレンジに切替えて下さい。
5. 試験電圧切替スイッチを耐圧試験を行う電圧値に切替えて下さい。

レンジ切替スイッチを高いレンジに切替えるか又は、測定コードの接続に問題が無いか確認して下さい。

*測定スタートOKの表示が出たことを確認してから、再測定を行って下さい。

【表示例】

ジューデン ソクテイ
ソクテイ スタート OK

9. 耐圧電流の測定が終われば、電源スイッチを“OFF”にして下さい。

***測定レンジによる耐圧電流測定範囲**

【試験電圧切替スイッチ：10350V】

測定レンジ	周波数	耐圧電流測定範囲	分解能
0.5μF	50Hz	1mA~1626mA	1mA
	60Hz	1mA~1951mA	
5μF	50Hz	0.01A~16.26A	0.01A
	60Hz	0.01A~19.51A	
50μF	50Hz	0.1A~162.6A	0.1A
	60Hz	0.1A~195.1A	

【試験電圧切替スイッチ：5175V】

測定レンジ	周波数	耐圧電流測定範囲	分解能
0.5μF	50Hz	1mA~813mA	1mA
	60Hz	1mA~975mA	
5μF	50Hz	0.01A~8.13A	0.01A
	60Hz	0.01A~9.75A	
50μF	50Hz	0.1A~81.3A	0.1A
	60Hz	0.1A~97.5A	

***耐圧電流計算式**

静電容量測定値 : C

試験電圧切替スイッチ : V (5175V/10350V)

試験周波数切替スイッチ : f (50Hz/60Hz)

耐圧電流値 : $I = 2\pi f CV$ (A)

3-2: コンデンサ容量測定

1. 本体の測定端子から、付属の測定コードを被測定物に接続します。

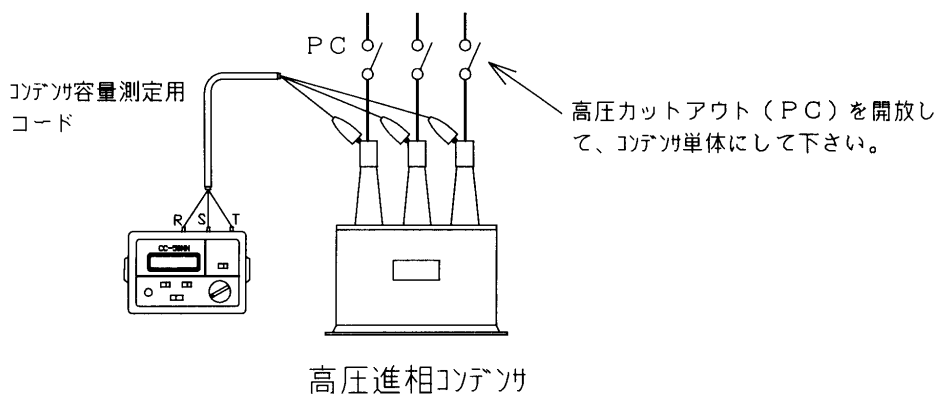


図4：接続方法

※危険※

被測定物への接続は必ず無電圧状態を確認してから行って下さい。
停電後、放電抵抗棒などで被測定物の電荷を放電してから接続するようにして下さい。

2. 測定切替えスイッチをコンデンサ容量測定の“R-S”に切替えて下さい。
3. 電源スイッチを“ON”にして下さい。

【表示例】

ジューデン・デンリュウケイ
SOUKOU

4. レンジ切替スイッチをコンデンサの容量に適したレンジに切替えて下さい。

【表示例】 レンジ切替スイッチ : 50 μ F の場合

R-S ソクテイ
ソクテイ・レンジ 50 μ F

5. 測定スイッチを押して下さい。C₀容量の測定を行います。

【表示例】

R-S ソクテイ

6. 測定が終わり R-S 間のC₀容量を表示します。

【表示例】

R-S ソクテイ
10.2 μF

↑
R-S 間のC₀容量

- *測定エラーの表示が出た場合は、測定値がレンジ切替スイッチのレンジをオーバーしているか又は、測定コードの接続に問題があります。

【表示例】

R-S ソクテイ
ソクテイ エラー

レンジ切替スイッチを高いレンジに切替えるか又は、測定コードの接続に問題が無いか確認して下さい。

- *測定スタートOKの表示が出たことを確認してから、再測定を行って下さい。

【表示例】

R-S ソクテイ
ソクテイ スタート OK

7. 測定切替スイッチを“S-T”，“T-R”に切替えて同様に測定して下さい。

8. 各相間の容量測定が終われば、電源スイッチを“OFF”にして下さい。

4. 電池の交換

1. 電源スイッチを“OFF”にして、測定コードを測定端子から外して下さい。
2. 本体底面に付いているネジ2個をゆるめて、電池BOXのフタを外して下さい。
3. 電池は4本共全て新しい電池と交換して下さい。又、交換の際は電極をまちがえないように十分注意して下さい。
電池：単3形アルカリ乾電池×4本
4. 電池BOXのフタを取り付け、ネジ2個をしっかりと締め付けて下さい。

危険

- ・本体が濡れている状態で電池BOXのフタを開けることは絶対にしないで下さい。
- ・測定中の電池交換は絶対にしないで下さい。又、感電事故を避けるため、電池交換の際は電源スイッチを“OFF”にし、測定コードを必ず測定端子から外してから行って下さい。

注意

- ・電池は新しい物と古い物を混ぜて使用しないで下さい。
- ・電池は使用推奨期限内の物を使用して下さい。
- ・電池は極性を間違わないよう、電池BOX内の刻印の向きに合わせて入れて下さい。
- ・長期間使用しない時は、電池BOXから電池を取り出して下さい。液もれによる腐食の原因となります。

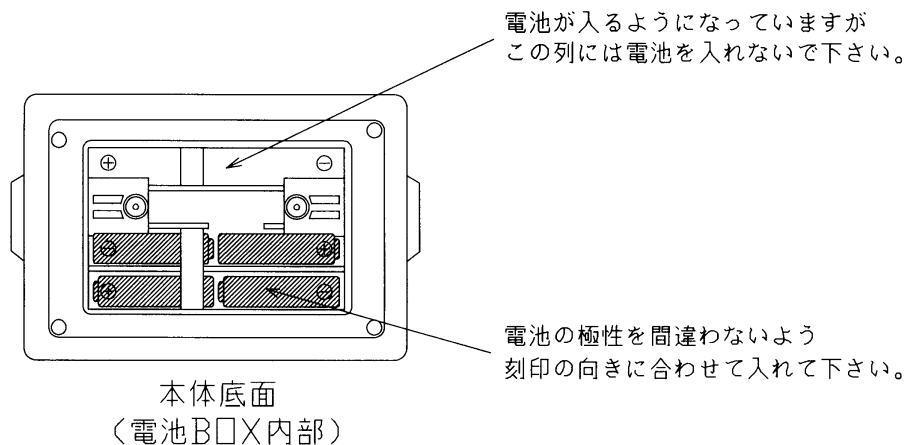


図5：電池の挿入

5. 資料

6. 外形図

